

福音の園®だより



特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
〒350-0016 埼玉県川越市木野目 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111 Fax. 049-230-1112

埼玉県認定：シニア活躍推進宣言企業
平成 18 年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成 27 年度「介護職員確保・定着の為に優れた取組」表彰

ごあいさつ

介護保険、26 年目を迎えて

パーソンセンタードケア

の実現目指して

特定非営利活動法人
福音の園・埼玉
理事長 杉澤 卓巳



西暦 2000 年に始まった「介護保険制度」。介護サービス利用が長年の「行政主導」から「利用者（家族）優先」へと改革されて 26 年目を迎えました。「パーソンセンタードケア＝その人中心のケア実践」が定着してきました。当施設も、「私にとって都合の良い（支援しやすい、手がかからずお世話しやすい）隣り人とは誰ですか？」の問い掛けに、「（気の毒な）その人の隣り人になったのは誰か？ あなたも行って同じようにしなさい」と謳う「聖書の言葉」を運営の基本にしながら、苦心しつつ精進に努めている事業所です。

…滞在期間が既に数十年以上になる外国人もあり、いずれ最期の時を迎えた際、本人が望む弔いが可能になる環境整備は欠かせません。これまで外国人労働者を受け入れ、今後更に積極的に呼び込みを図るべく取り組んでいる国、県、市町村、各企業等々、全ての関係者に問われている課題であり責任だと考えております。

これは、2025 年 6 月 25 日、宮城県県議会「一般質問」：藤倉知格県議会議員が最後に結ばれた会議録。一各企業等々、全ての関係者に問われている課題であり責任ですーと投げ掛けられたお

言葉を重く受け留めている事業者です。

川越市より指定認可いただき、「地域密着型介護保険事業所 2 施設」を運営しております。正社員・パート・アルバイト含めた総従業者の内、男性 3 名・女性 3 名の計 6 名が在留外国人です。昨年 3 月、男性外国人 2 名が「国家資格：介護福祉士」試験に合格しました（他に 4 名合格）。国家資格取得により「永住権」取得への道が開かれました。両名共、妻帯者。彼らの伴侶も当事業所でパート就労中です。未長く働いてくれることを期待し、環境整備に苦心しています。

ムスリム（イスラム教徒）の女性外国人を雇用しています。「お仕事の時はヒジャブ（注・信仰と慎み、敬虔さから髪や首を覆うために着用するスカーフ状の布）はしません」と応えてくれたのが採用動機でした。大型施設なら「調理と身体介護は完全分業」でも、小規模施設は「調理中でも、手が足りずトイレ介助に入る」場面あり。分業した「介護サービス提供」が叶わない中、掃除から排せつ・入浴・調理・食事介助まで「生活全般」をお世話させていただくとき、「効率」優先とせず、おひとり一人のペース（呼吸）に合わせるように、どこまでも「その人中心のお世話に徹したケアを実践したい」と取り組んでいる当法人の運営に共感して、自らのアイデンティティー（自己認識）である「ヒジャブ着用」を固守（優先）せず、「お世話する、ご利用者おひとり一人」のためのケア実践を最優先してくれたのでした。ムスリムである、彼女の信仰心と慎みに敬意を表します。

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878 番地 1

Tel. 049-230-1111



志を受け継いで

ホーム長 佐川 裕明



本年もどうぞよろしくお願いいたします。

当ホームは創業 22 年目に入りました。創業時に掲げられた運営基本理念「確かな支援技術に基づいた心に触れるやさしい支援の実践」「福音（聖書）に基づいた希望への支援の実践」の先に、新理念「笑顔が生まれる、安心・楽しさ」が実現されるものと確信し、職員一同、日々励んでいます。

「福音」とは元はキリスト教用語で「良き知らせ」のことです。「良いこと・嬉しいこと・楽しいことがあった！」…というのが「福音」です。当園でお過ごしされる方々には日々「福音」に満たされてお過ごしいただきたいと願っています。

近隣の皆様には気軽にお立ち寄りいただけるホームでありたいと考えています。「グループホームってどんな所？」と関心をお持ちの方、ご連絡いただけると幸いです。

◆22 回目のクリスマス会

創業以来、続いているクリスマス会です。「ピアノの会」に続き「クリスマスランチ」を楽しみました。ランチは職員が一致団結し心を込めておつ

くりしました。

以前はゲストを招き、利用者ご家族と共にクリスマスを楽しんでいました。またご家族をお招きできる機会を持ちたいと願っています。



←思わず「美味しい！」とピース

↓ 職員の力作。見た目も楽しいクリスマスランチ



◆生き甲斐活動「ワンちゃんと遊ぼう！」が復活

2025 年の 5 月からお休みになっていましたが元気に復活！利用者さん、職員も、久しぶりにワンちゃんたち、「小江戸いぬねこ倶楽部」のメンバーの皆さまにお会いできました。

ワンちゃんと触れ合うと笑顔がこぼれます。



ワンちゃんとメンバーが勢揃い



ワンちゃんとの触れ合いは癒しのひと時



「園芸療法の日」で利用者さんたちが作った「れいわ8ねんー笑う門には福来る 午年」の飾り。ある利用者さんが毎日折っている「折り鶴」を使いました。



グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528



新年のご挨拶

ホーム長 山本 裕隆



新年明けましておめでとうございます。

当ホームでは施設理念として「笑顔が生まれる、安心・楽しさ」を掲げています。本年も利用者様ひとりひとりの笑顔を大切に、安心して生活していただけるよう、より良い支援を目指してまいりますと思います。よろしくお願いします。

◆生き甲斐活動「ワンちゃんと遊ぼう！」

第二事業所でも、開設して初めて「ワンちゃんと遊ぼう！」を開催出来ました。ワンちゃん好きの利用者様もたくさんいらっしゃるので、開催出来ることになり、感謝の気持ちでいっぱいです。利用者様も、ワンちゃんと触れ合うことで、笑顔もたくさんみられました。



かわいいワンちゃんに笑顔

◆クリスマス会（12月16日）

毎年恒例のクリスマス会を行いました。午前中は生き甲斐活動の「ピアノの会」を開催し、職員手作りのたくさんの料理を召し上がっていただきました。おかわりをされる方も多くいて、皆様美

味しく召し上がっていたようです。

午後は、職員の出し物を披露しました。

①ハンドベル、②手品、③髭ダンス、④紙芝居、⑤マツケンサンバの内容でした。利用者様の笑顔も多く見られ、楽しんでもらえたようで、職員一同嬉しく思っています。



ゴージャスなクリスマス料理



手品の様子。皆さん、真剣な表情



本物ソックリ？のマツケン登場に大歓声！

◆新年うどん作り（1月17日）

うどん作りは去年も行い、利用者様から好評だったので今年も開催しました。うどんを作る過程（踏み作業）は利用者様にも手伝っていただきました。うどん以外にも天ぷら（鶏・ナス・さつまいも・かきあげ…）を作って召し上がっていただきました。



「美味しくなれ」と念じながらうどんを踏みます



スタッフ・ボランティア・見学 募集中！

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111

◆入居者さんは現在満室です（待機者3名）。

グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528

◆入居者さんは現在満室です（待機者2名）。

- ◆いずれも満室ですが、見学・相談はできます。「グループホームってどんな所？」と関心ある方、お気軽にご連絡ください。
- ◆介護士（パートさん・介護助手など）ご希望の方の見学・相談も随時受け付けています。
- ◆ボランティア（レクリエーション・話し相手・お茶出し…など）も大歓迎いたします。



地域密着型サービス外部評価の結果

地域密着型サービスのうちグループホームは年に一度以上サービスの評価を実施し、その結果を公表することが義務付けられています。2025 年は以下の通り実施しました。評価はWAMNET（独立行政法人福祉医療機構が運営する福祉・保健・医療の総合情報サイト）で公表しています。

グループホーム福音の園・川越

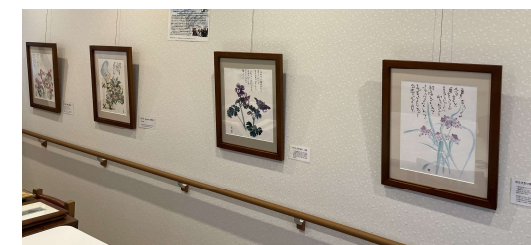
実施機関 有限会社プログレ総合研究所
評価確定日 2025 年 11 月 4 日

グループホーム福音の園・川越第二

実施機関 有限会社プログレ総合研究所
評価確定日 2025 年 10 月 18 日

星野富弘詩画作品展 開催中！

詩画家・星野富弘氏（群馬県名誉県民、2024 年 4 月逝去）の作品を福音の園・川越（木野目）、福音の園・川越第二「寄ってケア室」（萱沼）に展示しています。



「寄ってケア室」での展示の様子

この度、富弘美術館の館長・^{せいりゅう きよしげ}聖生 清重様よりメッセージをいただきました。

グループホーム福音の園・川越、川越第二
利用者・職員の皆様
ご家族、関係者、近隣の皆様

「富弘美術館を囲む会」埼玉県支部によりホーム内で「星野富弘詩画作品展」が開催されていることを嬉しく存じます。

星野富弘氏は一昨年、天国に召されましたが、たくさんの素晴らしい作品を遺してくれました。

川越市は、1984年に丸広百貨店で「星野富弘花の詩画展」が開催され、星野氏自身もご夫人の昌子さんと一緒に訪問し、滞在を楽しんだ地です。川越市の皆様にも、星野氏の作品に触れ、「生きることのすばらしさ」「生きる勇気」を感じていただけると幸いです。

群馬県みどり市立富弘美術館館長
聖生 清重